

美術研究科文化財保存学専攻(保存修復(彫刻)) 講師又は准教授 の公募について

1. 募集人員 東京藝術大学芸術研究院文化財保存修復領域 講師又は准教授 1名
2. 所属・専門等 大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存修復(彫刻)
3. 担当授業等 文化財の保存および修復に関する講義、修復実習および演習を担当する。
上記の他、学生生活指導、入試及びその他の大学運営業務に携わる。
4. 採用予定時期 令和3年4月1日
5. 任期 採用にあたっては、定年(満67歳)を上限として、講師は5年、准教授は10年の任期制(更新可)が適用される。
※更新については任期末1年半前までに更新希望の有無を確認の上、再任評価を行い、任期末の1年前までに更新の可否を決定します。
6. 給与 本学規定による
7. 就業時間 専門業務型裁量労働制(1日7時間45分働いたものとみなす)
8. 休日 本学規定による
9. 社会保険等 文部科学省共済組合
10. 応募資格 下記の各項すべてを満たす者
 - (1) 保存修復(彫刻)に関する優れた業績を有する者
 - (2) 保存修復(彫刻)に関する修復技法と理論について総合的に造詣が深く、その修復等の実績を持ち、上記の専門分野に関し十分な研究指導能力を有する者
 - (3) 主たる自己の専門とする保存修復(彫刻)以外の分野の文化財保存についても幅広い見識を有する者
 - (4) 保存修復に関する国内外の共同プロジェクトなどに参加できる者
 - (5) 大学院博士前期課程(修士課程)および博士後期課程学生の教育研究指導にあたる者
 - (6) 博士の学位を有する者もしくはこれと同等以上の実績を有する者
 - (7) 採用後、通勤可能な範囲に居住できること(上野校地及び取手校地)
 - (8) 国籍は問わない。ただし、上記の教育に支障のない日本語能力及び英語能力を有する者
11. 選考方法
 - (1) 第一次選考: 書類審査 令和2年8月下旬～9月上旬 結果は書面にて通知する。
 - (2) 第二次選考: 面接審査 令和2年9月15日(火) 詳細は第一次選考合格者に通知する。
(なお、面接に要する旅費等は自己負担とする。)
 - (3) 候補者内定: 令和2年11月中旬頃
12. 提出書類
 - (1) 履歴書(写真貼付。生年月日、連絡がつく電話番号・メールアドレス等を明記のこと)
 - (2) 業績リスト(別添の参考資料1を参照して作成のこと)
 - (3) 主たる修復(修理)報告書や学術投稿論文や創作作品等の業績資料(A4ファイル1冊にまとめる、資料等は写しで可、別添の参考資料2を参照して作成のこと)
 - (4) 教育指導に関する抱負と計画(1000字程度、書式自由)
 - (5) 着任後の研究計画(1000字程度、書式自由)

※提出書類はいずれもA4判用紙、日本語((2)(3)の業績名・資料が外国語の場合はその限りでない。)で作成すること

※提出書類は採用事務にのみ使用し、その他の目的に使用することはありません。

また、(3)を除く提出書類は返却しません。

※上記(3)業績資料の返却を希望する場合には、必要な額の切手を貼付して返送先を明記した返却用封筒又は返送先を記入した宅配便の「着払い」伝票を、上記(1)～(4)と共に提出して下さい。

13. 書類提出先

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学美術学部庶務係 宛

※提出書類は、書留郵便、ゆうパック又は宅配便で、配達記録が残る方法で送付し、封筒又は箱の表面に「保存修復(彫刻)教員応募書類在中」と朱書きすること。

14. 書類提出期限

令和2年8月24日(月)17時までに必着(厳守)のこと。

書留郵便、ゆうパック又は宅配便による配達記録が残る送付物以外は受理しない。

15. その他

本学では平成28年6月に公表した「大学改革・機能強化推進戦略2016」に基づき、ダイバーシティな大学環境実現のため、女性や外国人等の教員・研究者への支援を推進しています。

(東京藝術大学ダイバーシティ推進室HP <http://diversity.geidai.ac.jp/>)

【本件に関する問合せ先】

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部庶務係 (担当：本橋)

(問合せは、必ず文書によること。)

E-mail: bijutsu-shomu@ml.geidai.ac.jp FAX: 03-5685-7765

参考資料1 - 業績リスト作成要領

A4判用紙に作成すること。以下の項目で分類し、業績ごとに枝番号を付すこと。

1. 著書・論文（単著、共著、査読の有無を明示すること）
著者名（全員を記載）、論文タイトル、掲載誌名、号、刊行年、ページ（pp.）
2. 修復報告書等（共同の場合、代表者ならびに本件応募者の役割を明示すること）
著者名（全員を記載）、論文タイトル、掲載誌名、号、刊行年、ページ（pp.）
3. 講演・発表等
講演者・発表者名（全員を記載）、タイトル、主催者、年、場所
4. 展覧会等（作品には、主たる制作代表者ならびに本件応募者の役割を明示すること）
出品作品名（タイトル、サイズ等）、展覧会名、年、場所
5. その他の業績

参考資料2 - 業績資料の作成要領

資料は写しでも可。業績資料には、それぞれ業績リストに記載した業績番号の順番に対応するように資料を作成すること。

(例)

業績リスト

1. 著書・論文

1. 藝大太郎、藝大花子：論文タイトル、雑誌名 平成30(2018)年 pp. 1-pp. 2

